

## 郷土の人材を活かした 学校教育を



川窪 幸治 議員

**問** 東京五輪柔道女子78kg級金メダリストの濱田尚里選手と地元の名人を学校教育に活かす考えはないか。

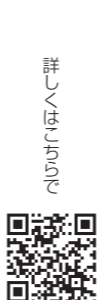
**答** 本市は、その栄誉を称え、初となる「霧島市民栄誉賞」を授与し、「おじゃんせ霧島大使」に任命、庁舎前には祝福の懸垂幕も掲げている。大舞台で栄光を手にした姿は、次代を担う子どもたちに夢と希望を与えてくれたものと考えている。本市出身のアスリートや文化人も多く、郷土力士と関係の深い学校では、手紙やビデオレターで交流し、学校行事への参加もしている。児童生徒が、郷土の人材に触れる機会を積極的に取り入れ、道徳科や総合的な学習など



濱田尚里選手 (自衛隊体育学校提供)

でも、先人の功績とその人物像から自分の生き方や考え方を学ぶ授業も行っている。今後も、子どもたちが夢や希望を持って生き生きと学べるよう取り組んでいく。

**その他の質問**  
・コロナ禍における霧島市のスポーツ振興について



詳しくはこちら

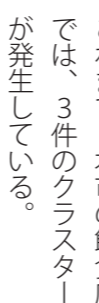
## 新型コロナウイルス 感染症対策は



下深迫 孝二 議員

**問** 本市のワクチン接種状況と小中高生の感染者状況はどうか。また、本市での飲食店でのクラスターの状況はどうか。

**答** 3月には医療従事者へ、4月からは65歳以上への接種をし、6月2日からは、集団接種をイオン単人国分ショッピングセンターで開始している。優先接種対象者で予約の取れない方や妊婦や同居家族などは優先接種できるよう調整している。また、9月7日現在、65歳以上が1回目88・7%、2回目86・4%、19歳から64歳が1回目46・3%、2回目24・7%となっている。これまで、本市の飲食店では、3件のクラスターが発生している。



詳しくはこちら

## 霧島公民館の移転計画と スケジュールは



木野田 誠 議員

**問** 霧島福祉センターへの移転は決定しているが今後のスケジュールはどうか。市は、現在の機能を失うことなく移転するとしているが、地区住民は、ステージを作ることや、雨の日に子どもが遊べる遊具を設置してほしいと要望もあるがどうか。また、現公民館跡地はどのように利用するの

**答** 令和4年度で設計業務を委託して、令和6年度中の供用開始を予定している。設備については、霧島総合支所との連携をとり、地域の皆さんの声を聞いて取り組む。跡地についても今後検討していく。

**その他の質問**  
・道路行政について  
・水田管理について



詳しくはこちら

## 計画策定には多くの市民 の声を反映を



松枝 正浩 議員

**問** 最上位計画である第二次霧島市総合計画後期基本計画の策定には、市民の声をどのように反映させるのか。

**答** 幅広い世代を対象とした市民意識調査、パブリックコメントを考えている。時代を見据え、新たな時代に向けたテーマも計画に反映させるため、子育て世代、移住者、外国人など、さまざまな立場の方が参加できるワークショップの開催も検討をしている。

### 本市の教育力の向上を

**問** 家庭、学校、地域における取組から、教育力の向上をどのように考えているか。



詳しくはこちら

## 市民や地域の声を反映し 時代を見据えた行政改革を



久保 史睦 議員

**問** 自治会加入促進のその後の取組と現状はどのようになっているか。

**答** 転入時、自治会加入を促す案内をし、自治会を案内している。また、協定書に基づき関係団体にチラシの配布をお願いしている。今年度の加入率は56・45%で、低下要因としてマンション等の増加や高齢化の進展が考えられるが改善策が見出せていない。引き続き地区自治公民館や自治会と連携し意義等をPRし、加入率の上げ止まりを目指す。

**問** まちづくり計画書の事業設計と要望改善率については多くの意見がある。一部権限移譲など大幅な改革と総合的な見直しについて問う。

**その他の質問**  
・本市の防災、減災対策について問う。



詳しくはこちら

## 過疎地域に手厚い施策を

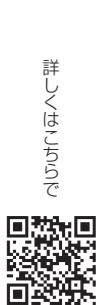


愛甲 信雄 議員

**問** 財政運営の中で、過疎対策事業及び過疎対策事業債をどのように位置づけているのか。

**答** 国は、本年4月に過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法を施行した。本市でも、令和3年度から7年度までを計画期間とする霧島市過疎地域持続的発展計画の策定を、今定例会に提案した。過疎対策事業債については、国における過疎対策の重要な支援策であり、本市としても有利な財源の一つである。今後も各種補助事業等や基金などの財源を確保し、過疎地域の持続的発展の推進に努めていく。

**問** JR肥薩線沿線の環境整備は  
**答** 本年8月3日に、JR九州鹿児島支社の職員や沿線の地域活性化団体等と沿線各駅において合同の現地調査を行なった。駅構内の除草作業をはじめ、環境美化活動について連携し取り組んでいくことを確認した。



詳しくはこちら